

SAMPLE

特集レポート No. 077

ロコモティブシンドロームと介護

Strictly Confidential



2017年 6月28日

はじめに

- 日本の高齢化が極度に進んだことによる介護老人の増加は、様々な社会問題を起こしている。今後も高齢化が進むことが予想されることから、いかに要介護者の増加を食い止めるかが喫緊の課題となっている
- 要介護の主因は生活習慣病によるものが多いが、同程度に運動器官の衰弱という要因も大きい。その運動器官の衰弱による要介護者の増加を抑制すべく、衰弱症状に「ロコモティブシンドローム」の名を冠し、政府を中心に対策に乗り出している
- 本レポートでは、活性化するロコモティブシンドロームの関連市場への参入状況を捉えることで、業界を理解する一助としたい

本資料の流れ



I. ロコモティブシンドロームの現状

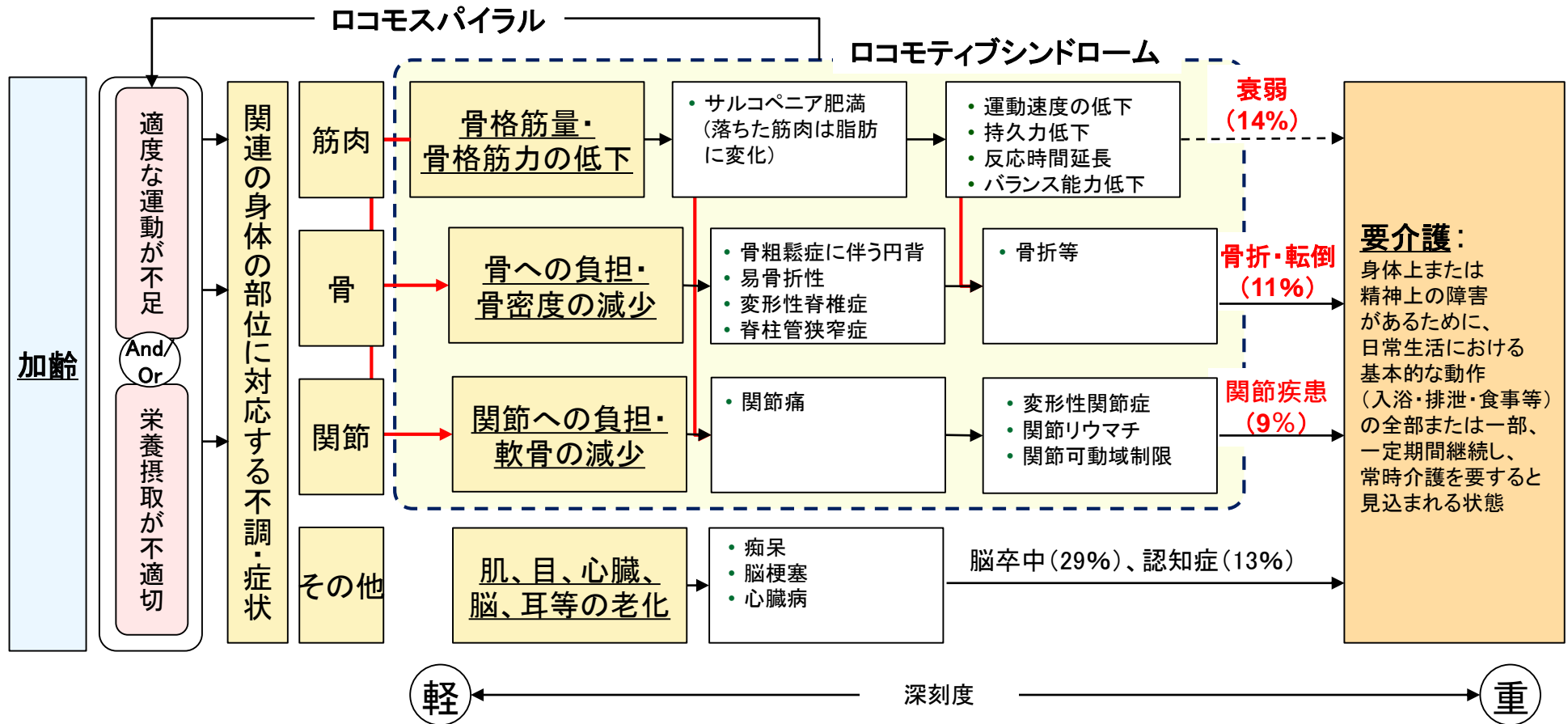
II. サルコペニアとビジネス

1. 健康食品
2. 運動

ロコモティブシンドローム(運動器症候群)とは

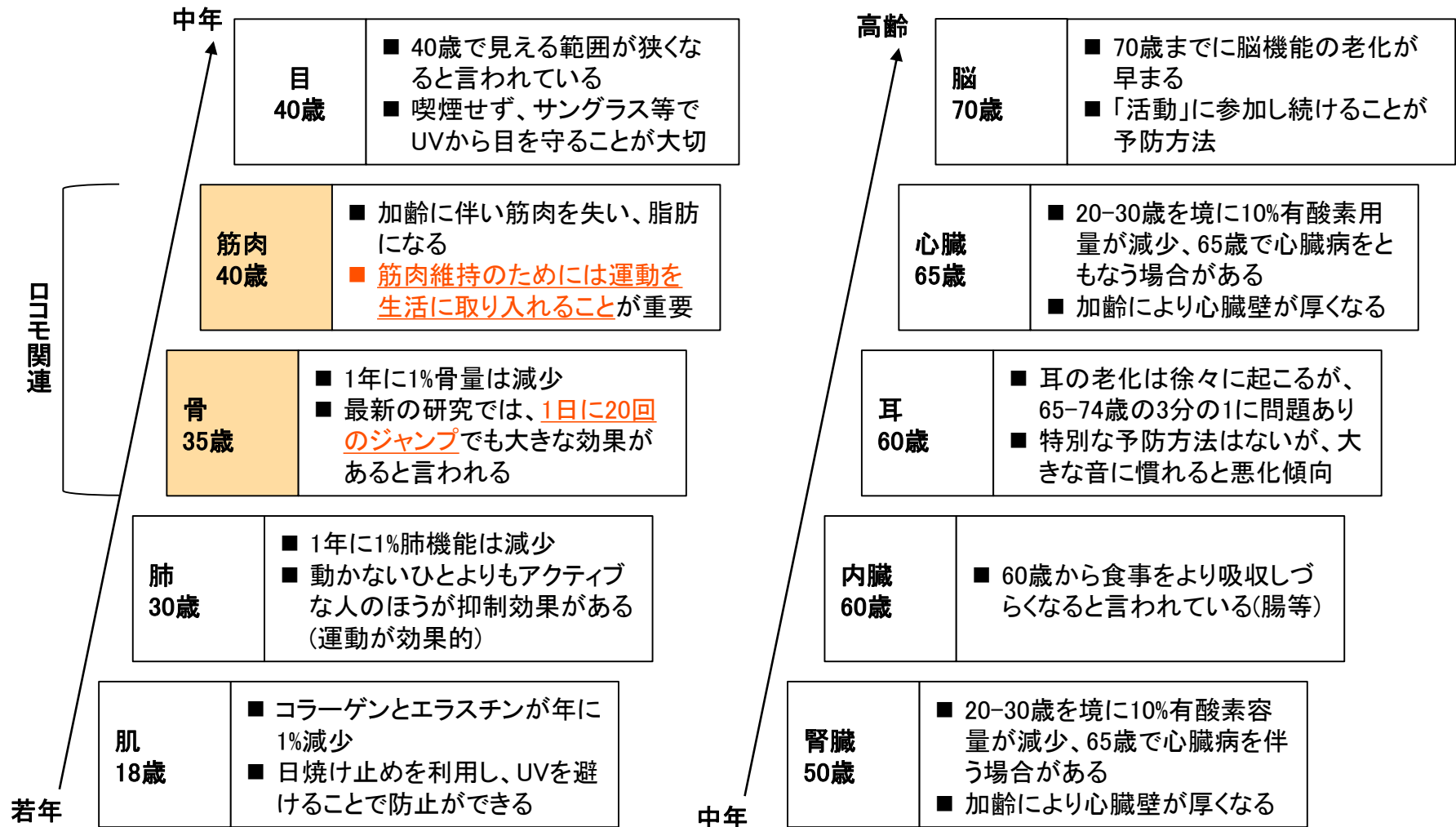
- ロコモティブシンドロームとは「運動器障害により要支援・要介護の状態になるリスクが高い状態になること(日本整形外科学会)」
 - ロコモティブシンドロームから要介護になる割合は約35%にのぼる

加齢により要介護に至るメカニズム



身体の部位毎の老化開始時期について

- 身体の部位で老化開始時期は異なり、筋肉・骨は35-40歳から老化が開始する
- 予防方法がわかっているものもあり、「運動・活動」が効果的

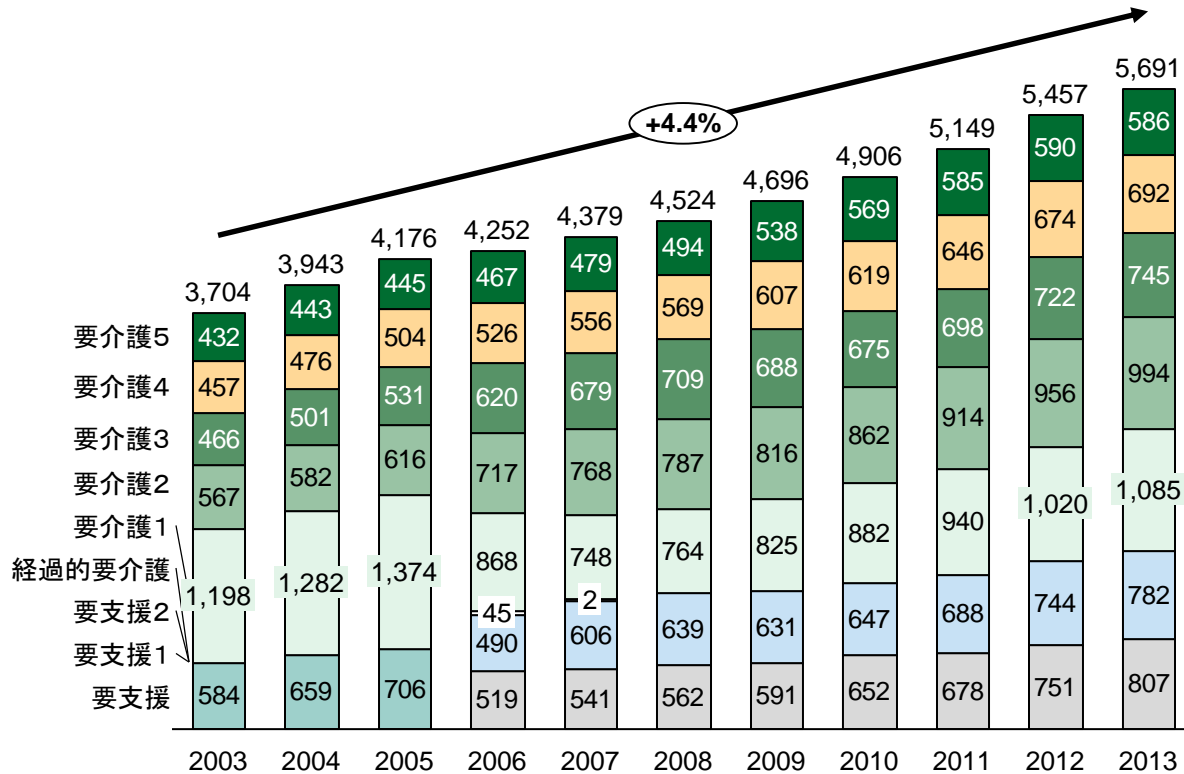


ロコモティブシンドロームの予防が重要と考えられる背景

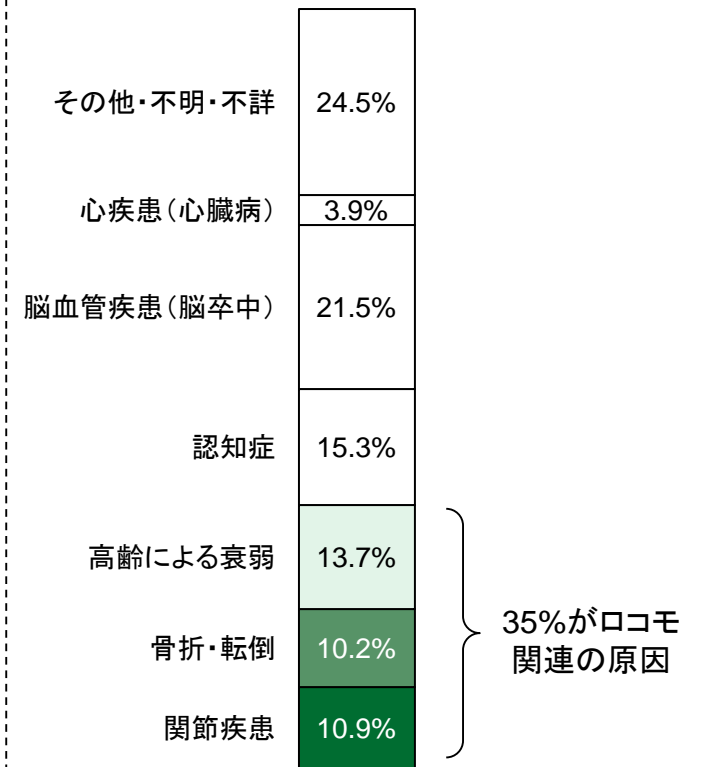
- 超高齢化社会で阻止すべき「寝たきり、要介護」の原因の一つであるロコモを予防することが重要である

要介護者の推移

単位:千人



要介護となる要因



出所: 厚生労働省「介護保険事業状況報告(年報)」

SAMPLE版はここまでです。

続きは、業界チャンネル 特集レポート にてご覧ください。

特集レポート一覧はこちら ▶

“業界チャンネル 特集レポート”とは、

経営コンサルタントの目線で特に伸びているビジネスに注目して分析。
その成功の鍵や今後に言及し、「打ち手」を導出します。

